

## 第38回 国立大学法人信州大学経営協議会 議事要録(案)

日時 平成23年11月29日(火) 14時15分～15時45分  
場所 信州大学松本キャンパス本部管理棟 第一会議室  
出席者 山沢学長, 荒井, 大和田, 荻上, 小宮山, 山浦, 山口, 赤羽, 三浦, 渡邊, 天野, 鈴木, 神澤 各委員  
オブザーバー 二宮, 笹本, 小池 各副学長, 常本, 若林 各監事  
欠席者 菅谷, 花岡 各委員

議長から, 学外委員について10月1日付けで全員が再任されたこと, 学内委員についても同様に再任されたこと, 及びオブザーバーの久保副学長が福島副学長に交代したことの紹介があった。

### 前回議事要録確認

議長から, 前回議事要録(案)について諮り, 確認された。

### 議 題

#### 1 役職員の給与等に関する規程等の改正等について

議長から, 本学役職員に対する給与改定等に伴う, 計9本の規程等の一部改正について, 一括して審議いただくものである旨の発言があった後, 人事課長から規程等改正説明資料及び資料1-1～資料1-9に基づき, 改正又は制定の理由及び内容等の説明があり, 審議の結果, 国立大学法人信州大学役員報酬規程の一部を改正する規程(案), 国立大学法人信州大学職員給与規程の一部を改正する規程(案), 国立大学法人信州大学職員給与規程の一部を改正する規程(平成20年3月19日平成19年度規程第58号)の特例に関する規程(案), 国立大学法人信州大学職員基本給決定細則の一部を改正する細則(案), 国立大学法人信州大学職員特殊勤務手当細則の一部を改正する細則(案), 国立大学法人信州大学非常勤職員給与規程の一部を改正する規程(案), 国立大学法人信州大学有期雇用職員退職手当規程の一部を改正する規程(案), 国立大学法人信州大学特定有期雇用職員等就業規則の一部を改正する規程(案), 及び信州大学医学部附属病院医員実施要項の一部を改正する要項(案)は原案のとおり承認された。

なお, 議長から, この規程は役員会の承認を経て制定する旨の発言があった。

#### 2 役員等の報酬について

議長から, 10月1日付けで再任された理事等の報酬並びに新たに就任した副学長の給与について審議いただくものである旨の発言があった後, 人事課長から資料2に基づき説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認された。

#### 3 平成23年度計画の変更について

議長から平成23年度補正予算(第3号)が11月21日(月)の国会において成立したことを受け, 本法人における平成23年度計画を変更することを審議いただくものである旨の発言があった後, 引き続き資料6に基づき説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認された。

なお, 議長から, 記載内容の最終的な字句修正等は学長に一任願いたいとの発言があり, 了承された。

#### 4 平成23年度学内予算の第1次補正について

議長から, 平成23年度学内予算の第1次補正(案)について審議いただくものである旨の発

言があった後、三浦理事から資料 4 に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

委員からの主な意見及び質疑応答は、次のとおり。

発電機は以前から心配していたが、発電容量については大丈夫か。また、エネルギーセンターの同じ部屋に設置するのではなく、万が一の安全性を確保するためにエネルギーセンター以外に設置することについて検討されたか。

発電容量の小さい400キロワットの発電機を交換し、1,000キロワットにする予定である。設置場所に関しては、発電機3台を集中制御することを考えており、別の建物に設置した場合は自動制御がしにくいいため、現在の場所に設置する予定である。

病院にとって発電は特に大事であるため、その点是非ご検討願いたい。

この発電機は夏場のシフト対応も兼ねており、ピークを越えそうになったときに稼働させている。

#### 5 学長選考会議委員の選出について

議長から、本経営協議会員の学外委員のうちから選出されることとされている学長選考会議委員について、10月1日付けで再任された学外委員8名全員を、資料 5 のとおり引き続き学長選考会議委員として選出したい旨提案があり、審議の結果、提案のとおり承認された。

### 報告事項

#### 1 平成22年度に係る業務の実績に関する評価結果について

議長から、国立大学法人評価委員会から通知された、本学の平成22年度に係る業務の実績に関する評価結果及び国立大学法人全体の評価結果の概要等について報告する旨の発言があり、引き続き二宮副学長から、資料 6 に基づき説明があった。

#### 2 『信州「知の森」づくり PLAN “The FIRST” 2011-2013』(山沢プラン)について

議長から、『信州「知の森」づくり PLAN “The FIRST” 2011-2013』を作成し公表した旨報告があり、引き続き、資料 7 に基づき同プランの概要について説明があった。

委員からの主な意見及び質疑応答は、次のとおり。

大変に素晴らしいものができた。折角作ったので、学内に周知させ、忘れられることのないように、毎年評価を行いながら進めていくと良いのではないか。

そのように進めたい。

内容的にも素晴らしく、プレゼンテーションも良いと思うが、一番のポイントは「知の森」というイメージ・印象が非常に良いこと。これは、色々な分野、先生、学生が努力の積み上げで、ブランドと同様に積み上がっていくものだと思う。信大NOW等色々発表されているが、この「知の森」にどういう木が生え、また、どんな花が咲くかと言うことがあって、これが「知の森」になって生きていく感じが良いと思う。良い絵が描いてあって終わってしまうのではなく、だんだん育っていく、生きている知の森を、具体的な中身として木がどうなっているか、花がどうなっているか、概念で整理するのではなく、そういうことを是非発表していただいたら良いと思う。

元気に生きている、咲いている、伸びている木と花をきちっと出していきたい。

#### 3 平成22事業年度財務諸表の承認について

#### 4 平成22年度財務レポートについて

議長から、本法人の平成22事業年度財務諸表について、資料 8のとおり文部科学省から承認があった旨の報告があった。

引き続き、三浦理事から、資料 9に基づき平成22年度財務レポートを作成し公表した旨報告があり、概要について説明があった。

委員からの主な意見及び質疑応答は、次のとおり。

地域連携の「信州直売所学校」は非常に良いことだと思うが、これは単年度事業なのか、「農工商連携等人材育成事業」の終了時点で終わってしまうのか、大学独自で続けるのか。

「農工商連携等人材育成事業」は今年が3年目で、来年度以降の予算は付かないかもしれない。地域の評判が良いため、どういう形で継続していくかをチームの中で検討している。人材育成という意味では、1回目、2回目の修了生等が、後輩の指導にも当たっているということで、やはり継続していくのが大事かと考えている。

この事業は平成22年度に係る業務の実績に関する評価結果でも高評価である。

種をまいて、花が咲き始めたら終わってしまうのはもったいない。折角の努力、ここまでが大変なため、ここから先がうまくいくようにしていただきたい。

長野県JAと話し合いながら、継続の方向を模索したいと思う。

#### 5 平成23年度国立大学法人等施設整備実施予定事業（補正予算（第3号））について

議長から、平成23年度国立大学法人等施設整備実施予定事業（補正予算（第3号））のうち、本法人に係る事業の内容について報告する旨の発言があり、引き続き鈴木理事から、資料 10に基づき説明があった。

#### 次回以降の開催について

次回は、平成24年2月1日（水）の午後に松本で、次々回は、平成24年3月28日（水）の午後に松本で開催を予定。

以 上